

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	リフレかやの里設備整備事業					
事業の概要	当施設は、人工温泉を軸に平成10年にオープンして以来、多数の利用者が訪れ好評を博しているが、温泉産業の競争の激化により当施設の経営は厳しくなっている。こうした中でコスト削減は喫緊の課題であり、検討を重ねた結果、当施設の人工温泉に使用していた水道水を地下水に切り替えた場合、毎月30万円のコスト削減が可能となることが分かったので、地下水利用のための整備を実施するものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	6,000	本年度事業費	6,000	交付金交付額	3,000
事業の必要性	当施設は、温泉産業の競争の激化により経営は厳しくなっており、このような状況の中、コスト削減は喫緊の課題である。検討を重ねた結果、当施設の人工温泉に使用していた水道水を地下水に切り替えた場合、毎月30万円のコスト削減が可能となることが分かったので、今回の整備を実施することで水道代を軽減し、経営の安定化に資するものである。					
事業の有効性	毎月30万円のコスト削減は、当施設の経営上非常に大きな影響があり、コスト削減とサービス向上の両立を目標とした施設の自立の促進に有益なものである。					
事業の効率性	今回の整備による投資は大きなものであるが、今後のランニングコストを考慮すると十分に意味のあるものといえる。経営の改善に寄与することで、更なるサービスの向上を行うことも可能とするものである。					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果					
	5 行財政改革に資する成果 当施設は、旧加悦町の第3セクター施設として整備されたものであり、施設の建設に始まり、経営や大規模な修繕費用に至るまで、町が負担してきた経過がある。しかし、今後は、町財政も厳しい状況の中で、いつまでも3セク施設として付随するだけではなく、コスト削減とサービス向上の両立を目標とした施設の自立を促進する必要がある。今回の整備にはそうした今後の方針も含んだ投資であるという意味を含んでいる。					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。